



vol.66

2017年
5月31日
発行

日本山岳会

「高尾の森」通信



—小下沢風景林の森づくり活動—

会員数：206名
(2017.4.30 現在)



桂 学名：*Cercidiphyllum japonicum*

カツラ（桂、学名：*Cercidiphyllum japonicum*）は、カツラ科カツラ属の落葉高木。

高さは30mほど、樹幹の直径は2mほどにもなる。

葉はハート型に似た円形が特徴的で、秋には黄色く紅葉する。

落葉は甘い香り（醤油の良いにおいに似ている）を呈する。

小下沢 NOTE 春

3月定例作業



板当作業場入り口

みんなで協力して整備



間伐地



小木沢梅林が満開

あおいすみれが咲き始めました



体験参加者6名
また来てね!!



4月臨時作業



作業後の雪の中の勇姿



育樹祭のマーキング実施

にりんそうがあちこちに
咲いています



下草整理

桜が満開の浅川で有志が花見



5月13日～14日

みどりとふれあうフェスティバル参加



人気の「竹ポックリ」と子ども用クライミング



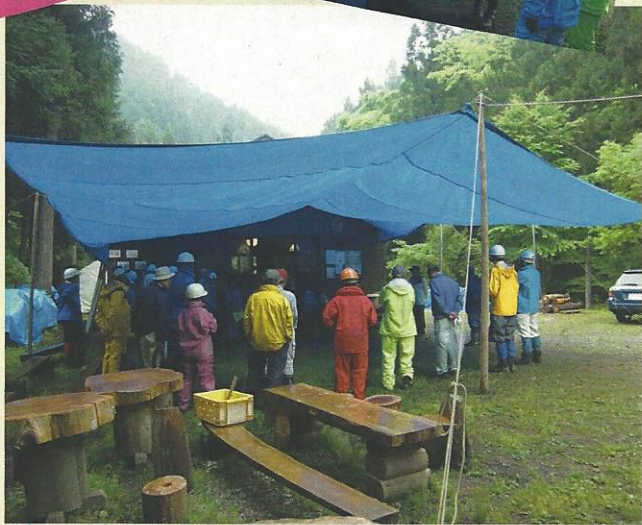
臨時作業



親子森林体験の準備

定例作業にきたけれど、さて、どうしたものか

5月定例作業



5月定例作業は中止になった

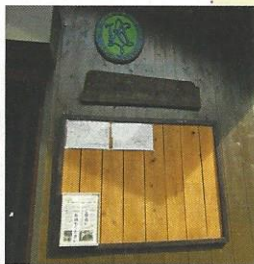


雨でも下見に行ってきた

会員募集中

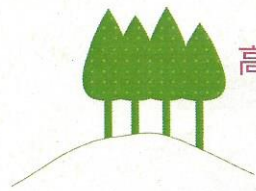
作業小屋掲示板に
会員勧誘パンフ設置

地域誌に紹介され
会員勧誘記事掲載



もくじ

- こげさわ NOTE.....02
- 今年の育樹祭.....04
- 定時総会のお知らせ.....05
- 南房総観察会.....06
- 森の研修会(救急).....07
- 「高尾の森と生き物たち」展.....08
- 滋慶学園森林体験教室.....09
- 渡邊さんを偲んで.....10
- 私のお気に入り.....10
- 幹事会報告.....11
- 会員紹介こんな人です.....11
- 事務局からのお知らせ.....12



高尾の森づくりの会

今年の 育樹祭

ご参加
ありがとうございました

第二回育樹祭に参加して

関東森林管理局 平野均一郎

林野庁関東森林管理局に勤務している平野と申します。4月9日に開催された育樹祭に参加させていただきました。当日は残念ながら雨でしたが、心地よい一日となりました。

高尾山にはプライベートを含め何回も足を踏み入れたことがあり、なじみ深いところです。昆虫(カミキリムシ)採集が趣味である自分にとっては都内でもっとも身近な採集フィールドであり、コボトケヒゲナガコバネというカミキリムシを初めて採ったのが今回の育樹祭会場に比較的近い日影沢という所でした。このカミキリムシの名称である「コボトケ」は高尾の「小仏峠」に由来しているそうです。

さて、育樹祭には林野庁から沖次長をはじめ4名が参加しましたが、全体を見回すと、会員の皆さまや関係する企業や団体に所属する方々など、総勢で約2百人近くが参加されており、若い方が目立ったのが印象的でした。最初は小雨でしたが、どんどん酷くなり、予定されていた育樹活動(間伐)は残念ながら中止。それでもその活動予定地へご案内いただきました。ヒュッテ風の小屋があるところから活動予定地までの標高差で3百メートルほどをまずは一気に斜面を尾根まで登り、次に尾根沿いにかかるコース。“ボランティアな活動場所にしては移動がハード過ぎる”というのが偽ざる気持ちでした。そして現地は急傾斜に植えられたヒノキで胸高直径20センチメートルを超え樹高も15メートルはある人工林。これもプロの道具と技術が必要では。聞いて見ると会員にはチェーンソーを巧みに操る猛者も少なくないとのことで、高尾の森づくりの会はもはや“セミプロ集団”との認識に変わりました。



たくさんの協賛企業の方々、関係団体の方々がおみえになり、盛況でした。



林野庁関係の方々よりご挨拶をいただきました。



動植物生態調査等の説明もしました。

それから小屋のところへ戻って会員の方が撮影された野生動物のビデオ鑑賞。小屋はしっかりした構造でこれも会員の自力制作とのことでさらに感心し、また、ビデオの内容も自動撮影カメラによる貴重な映像ばかりで若い方々が興味深く見入っていました。最後に楽しみのお昼ご飯。振る舞われた豚汁が雨で冷えたからだに染みいるように美味でした。

今回、育樹祭に参加して、会の皆さまの活動の”凄さ”を垣間見た気がしました。皆さまの活動を通じて高尾の山がこれまで以上に野生動物や虫たちにとって生息しやすい森となることを期待しています。



育樹祭報告

雨の育樹祭

川久保芳男

「第2回育樹祭」は、4月9日(日)行事内容を急遽変更して無事終了しました。

参加者は総勢169人、内訳は法人会員、特別支援団体13社(96人)と来賓の林野庁、関東森林管理署、東京神奈川森林管理署、当会員が73人でした。

開会式が始まり、事務局長から天候を考慮して、板当地区の間伐作業中止し、作業班A～D班を2グループに再編成。1グループは、既往植栽地の散策班、2グループは、当会植栽地で収録した動物等の生態画像ビデオ鑑賞および解説(小屋にて)を約1時間毎に移動。

12時から交流会、激しい雨のテント下では、各法人から提供された酒やビールで乾杯!今年のトン汁は、鹿児島県の黒豚ですと提供社から一言!キッチン班の料理をととても美味しく頂きました。それにしても、物凄い雨でした。

ここで、育樹祭に向けての準備や当日の対応とその後の作業を紹介します。

3月初めに育樹祭準備役割分担責任者を定める。実施要領作成。開会式・交流会の進行役臨時バスの依頼、医師への依頼、法人への案内送付者、法人からの提供確認者、受付名簿作成者、会員・法人の名札作成者、案内板・標識・腕章・横断幕の準備者の選出・依頼。

4月に入ってから、小屋から狐塚までの山道整備。狐塚から板当育樹エリヤまでの作業道作り、下枝払い。4月8日(育樹祭前日)は、育樹祭の雨を想定した大小のテント設置準備。トイレの増設、AED、衛星電話、無線、拡声器、救急セットの準備等々。

たくさんの会員やご協力いただいている企業・団体のみなさまの協力の下、育樹祭の開催が可能となっています。



すべて終わり撤収終了です。

平成29年度通常総会通知

日本山岳会 高尾の森づくりの会代表

吉川 正幸

平成29年度通常総会を下記の通り開催します。万障お繰り合わせのうえご出席くださいますようご案内申し上げます。今回は、小泉武栄先生をお招きして特別講演会を開催します。小泉先生からは、山の地形、地質や植物、植生などについて、多彩なお話を伺えるものと期待しております。また、総会の後には懇親会を開催する予定ですので、皆さま、是非、出席されるようお願いいたします。

日時 平成29年6月17日(土)

会場 富士電機能力開発センター

(日野市富士町1番地、JR豊田駅徒歩5分)

スケジュール 13時開場

第一部(13:30～14:50)

特別講演会「山の自然学 最近の知見」

講師 小泉武栄先生(元東京学芸大学教授)

小泉先生の著作ご紹介:「山の自然学」岩波新書、

「山の自然教室」岩波ジュニア新書、「日本の山と山

植物」平凡社新書、「山の不思議発見」ヤマケイ新書

第二部(15:00～16:30)

平成29年度通常総会

議案 1号議案 平成28年度事業報告(案)承認の件

2号議案 平成28年度収支決算報告(案)承認の件

3号議案 規約改訂(案)承認の件

報告事項

1. 平成29年度活動方針(案)

2. 平成29年度予算(案)

3. 運営体制

第三部(16:30～17:30)

懇親会

富士電機能力開発センター内にて、会費1,000円

(当日徴収します。)

やむを得ずご欠席される方は、書面による議決権行使を行うか、委任状を返送されるようお願いいたします。

*出欠のご返事は、必ず6月10日(土)までに到着するようご投函ください。

*総会に参加される方は議案書と活動報告書を持参ください。

南房総
観察会

小木曾裕子

リンボク 常緑の葉と幹



1月5日から1泊2日で生態調査班の活動としては初めて泊りで植生調査観察会を南房総にて実施した。初日は、久留里城址、三島神社、清和県民の森、佐久間ダム周辺水仙ロード、二日目は、東京大学演習林、清澄寺～清澄山と盛り沢山の活動でした。

今回の観察会では、君津市の森林インストラクターの小池英憲さんにご案内いただき、いただいた資料によると、「房総半島は太平洋岸の暖温帯であり、従って対応する植物群は照葉樹林帯のそれとなる。即ちスタジイ、カシ類、タブノキ(海岸)、を高木層とし、カクレミノ、ヤブツバキ、サカキ、ヒサカキ、シロダモなどを亜高木層、アオキなどを低木層、テイカズラ、ヤブコウジ、ホソバカナワラビ、ベニシダなどを草本層とする森が形成する。」とあり、2日間でここに列挙された草木を多く観察することができた。

最初の目的地である久留里城址では、林道からの登りは日陰ということもありホシダ、ウラジロ、オオベニシダ、アマクサシダ、コモチシダなどシダ類が多く、カンアオイの花も咲いていた。房総では珍しい樹木として、やや登ったところに常緑の桜のリンボクや本丸手前にシャシャンボも生えていた。次に訪れた三島神社の裏手には樹齢約400年の巨木のスギ林。貴重種のナンジャモンジャの木(アサダ、カバノキ科)は今から300万年前、三浦半島経由で渡来した山地系植物で、三島神社で8本確認されているとの説明があった。ナンジャモンジャの語源は「なんというものだ」が訛ったらしい。

午後は、清和県民の森に移動し、全長3400mのセラピーコースを散策。最初は緩い上り坂で、イイギリ、マメザクラ、イズセンリョウ、ナツボオズ(=オニシバリ)、ネジキ等を観察。展望台に着いたが残念ながら富士山は見えず。ここからの下りはスギ、ヒノキの人工林となる。コース全体で少しでも空いている所にはミツバツツジが密集して植えられていた。陽が沈む前に何とか佐久間ダム周辺の水仙群生地に着く。斜面に沿って作られた遊歩道には水仙の合間に河津桜も植えられており早くも数輪咲いていた。

翌日は、最初に時間をかけてゆっくり東大演習林を見学。ゲートに入るとタブやスタジイが目につく。程なく様々なシダやコケが道沿いの岩肌に生息している所に出る。トウゲシバ、マメツタ、ハコネシダ、カタヒバ、ナチシダ等。樹木ではヤブニッケイ、アカガシ、ウラジログシ、サカキ、ヒサカキ等の葉っぱの違いを観察。その後、日蓮宗大本山の清澄寺に移動。境内の正面には樹齢約800年の立派な千年杉。本堂から清澄山頂への登りは階段状に整備されていた。ここもシダ類が多い。半分ほど登ったところに5枚がきれいに広がった形の良いナチシダが群生していたのが印象的でした。

帰路、内浦山県民の森の事務所に立ち寄った後、養老溪谷を散策。天候にも恵まれ事故もなく、非常に中身の濃い充実した観察会でした。



三島神社の巨木



ナチシダ

森の研修会 救急 実施報告

講師：相澤さん



目的 救急に関する理解を深める。

日時 2017年3/19(日)

10:00～14:00

場所 小下沢ベース小屋

参加者 (敬称略・順不同)

相澤篤(講師)

河野悠二 山崎喜春

松川征夫 大塚広康

青木亨 組澤勝

小山圭司 安井一彦

橋本史成 守永日出男

小木曾裕子

高橋賢次(報告者)

研修内容

座学(10:00～12:10)

パワーポイント資料(TVモニターおよび印刷資料を併用)にて以下を講義

1 初期に必要な判断と対応

初期判断のフローチャートのレクチャーおよび役割分担等、個々の項目の解説。

2 傷病者への初期対応(セルフレスキュー)

傷病者への初期対応フローチャートのレクチャーおよび状況評価や一次救命処置など個々の項目の解説。

3 救助要請

ヘリコプター救助の要請からピックアップまでの解説およびビデオ映像

実技研修(13:00～14:00 道具小屋付近にて実施)

1 傷病者の搬送

松葉づえの造り方やザックを用いた背負い方などを実習

2 ロープを用いた傷病者の引き上げ

イタリアンヒッチ、三倍力、プルージックなどを用いて引き上げ法を実習

参加者の声

- 誰しも、初めてのことはうまくできないので、普段の訓練が大切。
- 定期的に救急の講習をすると良い。
- 安全体制を整備する必要性を痛感した。
- 携帯電話の通じる場所、無線交信のできる場所を明確にして共有する必要がある。
- ヘリコプターは万能でないので、ヘリがピックアップできそうな場所を普段から考えておく必要がある。
- 同行者の事故の際に動転した経験があり、冷静さを保つことは重要である。
- 緯度経度メッシュを記載した地図の存在を周知する必要がある。
- 人力搬送はとても困難で、一人の救助に30～50人くらい動員する。
- ロープワークは繰り返し練習しないと忘れてしまう。
- 不確かなロープワークはかえって危険を招く恐れがある。

時刻歴

- 10:00～12:10 ベース小屋にて座学 煙かった…
- 12:10～13:00 昼食および参加者の意見交換
- 13:00～14:00 実地研修 ※道具小屋付近にて
- 14:00 反省会后、解散

作業小屋



座学講習

実習



実地での講習

ロープワーク



救急搬送



「高尾の森と生き物たち」展を 開催しました!



山崎 勇

TAKAO599 ミュージアムで3/30(木)～4/5(水)にかけて「高尾の森と生き物たち」展を開催しました、子供さん達の春休みの期間中で1123人の方々が来場し好評を得ました。

今回のイベントは事前に、京王ニュース、新聞への掲載(マリオン)や案内パンフの配布駅構内のポスター展示などで案内され、来場者とお話すると展示会が目的の方が多くいました。

狙いは、未来を担う子供たちと親に豊かな高尾山を身近に感じてもらい、高尾の森づくりの会をPRし会員になって頂く事でした、入会案内も来場者に配布しこれからが期待されます。



皆さん
ありがとう
ございました

展示会の準備、受付、説明スタッフとして多くの方々(延べ50数名)が参加して下さいました。

吉川代表、松川事務局長、小木曾副代表、召田さん、茂出木協子さん、横川さん、紺野さん、相沢さん、安藤さん、松川信子さん、白井さん、松田さん、小口さん、石井さん、宮本さん、日比野さん、萬国谷さん、本山さん、小南さん、西村さん、三葉さん

「高尾の森の生き物たち」映像の放映と説明

担当 山崎

- 高尾の森のドローンによる空撮映像
- 哺乳類&鳥類の定点観測カメラによる映像鑑賞
- 映像の編集(種名表示やBGMの挿入)はHP担当の十河さんにお願ひしました。
- 季節の彩り(高尾の風景と高尾の森づくりの会の紹介)茂出木協子さん作成

横川コレクションの展示と説明

担当 横川さん

- 小動物(モグラ、ヒミズ)、昆虫、ヘビの抜け殻、ハチの巣、鳥類の巣、石など展示
- 手に取って見たり、触れることができ好評でした。

高尾の森づくり会の活動写真の展示&説明

担当 召田さん、茂出木協子さん

- 会の四季のさまざまな活動紹介パネル
- 高尾の森づくりの会の組織や歩み
- 森の体験イベント
- 高尾の花々の写真
- 哺乳類/鳥類の写真&シカの生息状況
- 支援活動(ラオス、気仙沼、三宅島プロジェクト)紹介写真は今までパネルに個々の写真を6枚貼って展示してましたが今回から6枚の写真を1パネルに印刷した形で展示しました。(小木曾さん作成)

間伐材を利用した木工作品の展示&説明

担当 物づくり班の方々

- 木工作品の展示(本立て、ペン立て、まな板、ひな人形、積み木パズル、拍子木)
- 木工作品制作作業の写真展示

599ミュージアムは、平成27年8月11日(昨年からの山の日)に開館し、2年目を迎えました。名前の由来は高尾山の標高が599mからです、開館1年間で10万人以上の来館者が訪れ予想以上の来館者数で新緑や、紅葉の時期には大変混雑するそうです。

高尾山には年間250～300万人が訪れるといわれますが、富士山や槍ヶ岳の山の形は誰でも想像できますが、高尾山の山の形を説明できる人は少ないと思います。ミュージアムには高尾山山系のジオラマがあります。行く機会がありましたら見てください。南高尾山稜や城山から眺めると高尾山の形が確認できます。

滋慶学園

参加者全員での
集合写真



第1回 (2017年度) 森林体験教室

報告 大森 茂

森林ハイキングでも元気いっぱい！



コースターづくりは面白い(丸太切り)！



概要 ● 2017年新入生に森と海の繋がりを森林教室を通して学習して頂く。
また、共同作業で仲間意識を共有する。

日時 ● 4月22日(土) 曇時々晴れ、のち雨

参加者計 ● 52名

滋慶生徒…33名

滋慶先生…3名(中川/柴山/内藤各先生)

高尾の森…16名(リーダ早川)

教室 ● 出前授業(4月19日、学園にて)

- 河西さん、山崎さんが2つの教室で裏高尾の生態系(森林、動植物)を講義
- 森のお話、ビデオなどで説明実施

①自然観察(小下沢林道)

- 9:40~10:45に草花の観察
- 横川コレクション展示

②木工教室(丸太切、工作) 11:15~12:00

- 丸太切り、箸作り、コースタ作り、鉛筆立て作りなど実施

③森林ハイキング(森林經由景信山)

- 13:25出発→(巨木の森)→大久保山→景信山→小仏バス停 15:55着

評価は生徒さんの感想文を送付頂けるので、それを待ちたいが、良い教室となったと思う。

- 天候判断は最重要。(特に前日雨は注意)
- 木工班の準備で順調な工作体験。
小刀作業は問題ない。箸を上手く作る生徒も数人いた。
コースタへの焼印人気有
- 森林ハイクの引率は6名が必要。
- 森林体験教室(40人)では支援16名要

高尾の森づくりの会より参加者の皆さん(16名:敬称略)

吉川/松川/石井/会田/仲/佐々木/白井/横川/山崎/仁藤/一戸/早川/大島/山野/沢井/大森

渡邊さんを偲んで



「グループを束ね、今度の植樹祭に本気で参加したい」 日本山岳会に1992年に入会したメンバーを代表し、河西代表に渡邊さんはこう直訴した。

「よし、判った。それならO2B地区の今後のことは渡邊さんにそっくり任せましょう」 隣に座っていた別の幹部から異論をさしはさむ声が発せられ高尾の食堂には緊迫した空気が流れたが、渡邊さんは一歩も引かなかった。

O2B地区の表土は瓦礫で覆われ、そのうえ上に行くほど斜面が急になっていた。

そのため水を含んだ新聞紙で根を包みよそから運んできた土で埋め込む方法が考案され、水を運ぶためのペットボトルが早くから持ち込まれた。失敗は許されないという渡邊さんの強い気持ちを仲間が全員で支えたのだ。参加者に感謝の意を伝えたいという渡邊さんの意向で、幼樹の間の岩盤に記念の金属プレートが打ち込まれた。

『恩返しをしたいから』山への深い愛情は自身の肉体の酷使を無視するまでになり、やがて病魔に取りつかれる一因になってしまった。

三宅島への支援が決まるとリーダーを引き受け、亡くなる直前までの9年間、欠かさず島に足を運び続けることになった。病を伏せ続けることはさぞ勇気が要ってのことであつたろうと思う。

普段は作業小屋に詰めることが多く、野鳥の観察指導と無線通信、それに新人教育に注力してきた。

高尾にのめり込んで16年、あなたは高尾をこよなく愛したなあ。カタクリの花が大好きだった渡邊さん！心からご冥福を祈ります。

召田 俊雄



ありし日の渡邊さん



私のお気に入り

鉈

寺田 誠



生まれて初めて購入した「山の道具」

今回ご紹介するのは、私が山仕事で使用している鉈です。この二丁差は高尾の森づくりの会に入会后、すぐに購入したもので、かれこれ7年くらい使っています。生まれて初めて購入した「山の道具」です。買った当時は研ぎ方がなかなかつかめず、休日の度に自宅の風呂場で研ぎ続けて、家族からよく不気味がられたものです。砥石を手にするのも初めてで、やみくもに研ぎまくった結果、新品の鉈と比べると5～10mmくらい刃が細くなっています。刃

研ぎの感覚を手が覚えるまで、ずいぶんと時間がかかってしまいました。愛着のあるこの鉈ですが、実はしばらくの間、行方知れずになっていた時期があります。なくなった経緯は今でもよくわからないのですが、いくら探しても出てこないの諦めていたところ、道具班の棚卸のとき貸出用の二丁差の中にこの鉈を見つけました。刃の形、握ったときの柄の感覚、一目で自分の鉈だと判りました。こうして約一年ぶりに再び私の手元に戻ってきま

したが、刃はボロボロにこぼれて錆ついており、見るも無残な状態で、また一から研ぎ直しとなりました。自分なりに使い込んでいますが、この鉈はまだ未完成です。土手の部分にもっと角が出なくてはいけないのに、丸くなってしまってきてしまいました。何年も使って初めて自分の研ぎ方の問題が形になって現れてきます。刃研ぎは奥深いですね。

2017年 幹事会報告 (抜粋)

第10回

3月6日(月) 18:30～20:45
 会場/立川市女性総合センター第二学習室
 参加/幹事11名 監査役2名
 オブザーバー/守永・小南リーダー
 議長/代表
 書記/松川

協議事項

1. 総会議案書について(事務局長)
2. 入会希望者に対する手続き(代表)

報告事項

1. 599 ミュージアム展示会、作業班編成について(事務局長)
3. 許認可等の手続き状況報告、201 ぼ小班の作業の進め方(馬場副代表)
4. 滋慶学園対応(大森幹事)
2. 第二回育樹祭(川久保幹事)

第11回

4月3日(月) 18:30～21:30
 会場/立川市女性総合センター第二学習室
 参加人数/幹事12名 監査役2名
 オブザーバー/守永・小南リーダー
 議長/代表
 書記/松川

協議事項

1. 協定書の確認、総会に向けた対応議案の課題と取組み(馬場副代表)
2. 総会議案書作成の考え方、第二回育樹祭、対外折衝複数案(事務局長)
3. 都有林情報(日比野幹事)
4. 規約改正(案)説明(代表)

報告事項

1. 201 へ小班巡検結果報告、板当エリアの作業の進め方(馬場副代表)
2. 板当202 皆伐跡地の予備調査について(高橋幹事)
3. 決算報告速報(湯川副代表)
4. 新会員勧誘プロジェクト(小山幹事)

第12回

5月8日(月) 18:35～21:30
 会場/立川市女性総合センター第一会議室
 参加人数/幹事9名 監査役2名
 オブザーバー/守永・小南リーダー
 議長/代表
 書記/大森

議案

1. 総会議案の説明と採決・・・議案1(事業報告)、議案2(収支報告) 議案3(規約改訂)
2. 総会報告事項の説明と採決・事業計画、予算、体制

協議事項

1. 道具班より使用しない道具の取り扱いについて(事務局長)

報告事項

2. 5月～9月作業の進め方、作業小屋の立ち合いについて、新フィールドについて(馬場副代表)
3. 都有林経過報告(日比野幹事)
4. 研修会計画(仁藤幹事)

会員紹介 ⑨

こんな人😊です…山本幸次さん

「運の憑き」と「運の尽き」



物づくり・小屋管理班
 山本幸次

入会后暫くして聴くと、月例作業日とは別にベースまで毎週木曜日に来て作業をしている人達がいる事を知りました。「余程他にやる事が無いが、又は強烈な使命感を持った特殊部隊の人達なのか?」と思いつつも「ものづくり班お試し入学?」させてもらいました。

あれから1年半、メンバーの1人1人がそれぞれの分野のセミプロ且、遊び上手なのです。

木工作業は勿論、電動工具のメンテ・登山者用木道架け替え・ペンキ塗装等都度さまざまな雑用が舞い込んで来ます。今は「雑用の天才」を目指して密かに皆さんのノウハウを盗んでは少しずつ持ち帰っていますがこんな「面白い遊び」の内容はこ

れ以上具体的に書いてしまうと大勢の人に知れ渡り收拾がつかなくなることが心配でここまでといたします。

兎に角、仕事で殆ど感じた事がなかった「真のやりがい」が定年後にしっかりと私を待っていたとは思いませんでした。

振り返れば20代半ば、1人自転車で小山市に行つての帰り道、おにぎりタイムの場所探しに歩き始めた処いきなり「肥溜め」に落ちてしまつて以来、私にはしっかりと運が憑いていた筈でした。

運に導かれるままに覗いて見たのが「運の尽き」。

これからも我がまま放題、自分の都合最優先で参加させて頂こうと思っています。

事務局からのお知らせ

主な作業・行事記録

2/27	上柚木公園整備	8人
3/4	安全研修会 (松隈講師)	10人
3/11	定例作業日	97人
3/19	救急講座 (相澤講師)	13人
3/25	チェーンソー研修会	15人
4/1	臨時作業	30人
4/8	定例作業日	69人
4/9	第二回育樹祭	169人
4/22	滋慶学園研修会	52人
5/13	定例作業日 (雨/中止)	39人
5/13~4	みどりとふれあうフェスティバル	26名 (運営)
5/19~21	三宅島プロジェクト	47人

今後のスケジュール (予定)

6/3	森の研修会
6/10	定例作業日
6/17	定時総会
6/24	刈払機特別講習会
7/8	定例作業日
7/22	チェーンソー研修会
8/12	定例作業日
9/2-3	チェーンソー特別講習会

ものづくり・ 小屋管理班活動日

毎週
木曜日

第三
土曜日

チェーンソー 研修会

奇数月
第四
土曜日

生態調査班 活動日

第一
水曜日

会員動向

退会者

長い間

ご苦労様でした🌸

渡邊 美夫さん

山本 敏子さん

須川 昌子さん

宇野 良夫さん

入会者

ようこそ!

高尾の森へ

関根 豊さん (4月)

松島 彩さん (4月)

小山 尚幾さん (5月)

寄付金

お礼申し上げます

- 特別支援企業「京王電鉄株式会社」さまより寄付金をいただきました。
- 京王百貨店さまよりエコバッグの売上金を寄付していただきました。

編集後記

高尾のフィールドも新緑の木々が美しい季節となり、鳥のさえずりも心地よく響きます。

最近、ご無沙汰している会員の方も是非とも参加してください。新しい仲間も増えてきています。これからの季節、作業後の駅前でのビールが特においしくなる季節です!

デザインの田代さんが卒業し今月号から井上さんが新担当となっています。(小山)

